

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表日：令和5年2月13日

チェック項目			はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		机等の位置を考えた限りしスペースを広く取れるように心がけております。	
	2	職員の配置数は適切である	7		基準値以上基準を満たす人員配置をしており、療育に関わる職員は、全員が資格者を配置しております。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7		入り口にベビーサークルを設置し安全面の強化を図っております。 現時点では車いす利用の方の契約はありませんが、室内、トイレはバリアフリーとなっております。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7		毎日のミーティングやリフレクション会議などで課題があれば自由に話し合える場を設け、業務の振り返りから改善へと繋げております。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		保護者様へのアンケートは毎年実施し、ご意向、ご意見を確認し、業務改善に繋げております。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		COMPASS 発達支援センター公式Web サイトにて公開しております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		年間予定を立て、事業所内の職員研修は定期的に行っております。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7		児童発達支援管理責任者を中心に職員間でしっかりと情報共有を行い、計画書の作成しております。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		標準化されたアセスメントツールを活用し、児童の状況を把握し、療育に繋げております。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		管理者や児童発達支援管理責任者、また支援担当者の全員がチームとなって立案しております。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		課題内容は発達や児童の状況に応じて繰り返し行っている ことがあります、楽しみながら続けていけるよう工夫して行っております。 長期休みには、ソーシャルスキルトレーニングを行ったり、理学療法士の指導の下、身体を動かす訓練や指先の訓練も楽しんで行えるよう、イベントとして活動プログラムに取り入れております。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をさめ細やかに設定して支援している	7		平日は放課後の限られた時間の中で無理なく日々の継続で成果につながる課題を設定しております。 また長期休みにはイベントの参加やその時にしかできない課題などを設定しております。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	7		児童一人ひとりに合わせた個別支援を中心に実施していますが、集団への活動参加の組み合わせております。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		毎朝、その日の利用児童の担当や役割分担を掲示し、全員で共有しております。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		支援終了後、全職員への周知が難しい場合は翌日のサービス前に支援内容の振り返りをし、情報共有を行っております。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		経過記録は、出来たことだけでなく、苦手なことや課題も記録するようにして次の支援の際に活かせるように努めております。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		少なくとも6 か月に1 回はモニタリングを実施し、保護者様からの情報等も加味しながら、個々の成長に合わせた支援計画の見直しを行っております。	
関係機関や保護者との連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	7		児童の課題や状況を、特性、年齢などを考慮しながら支援計画に沿ってガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っております。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		担当者会議には、児童の状況を一番把握している児童発達支援管理責任者が参加しております。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7		送迎時の機会に学校が発行している時間割や行事予定を頂いたり、情報共有に努めております。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		7	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7		必要に応じて、関係機関と連絡を取り合い、情報共有や総合理解をしております。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	2	現在までに該当する児童がいないため、情報提供には至っておりません。	今後、該当する児童がいた場合関係機関等へ支援内容や活動状況等の情報を提供し移行先での活動に役立てていただきたいと思っております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	5	コロナ過でもあり、参加機会はありませんでした。	コロナ収束後、研修が行われる際は積極的に参加してまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7	学校に通われている児童が殆どのため、障害のない児童との活動はできていると考えられます。	感染症へのリスクもあり、交流は行えていませんが収束がみられた際には保護者様のご意向を踏まえて交流の機会を検討してまいります。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		7	コロナ過でもあり、参加機会はありませんでした。	コロナ収束後、研修が行われる際は積極的に参加してまいります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		送迎時のやり取りや連絡帳を利用して保護者様と児童の状況や変化などの情報交換をおこない、共通理解を深めております。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	5	保護者様の子育てのお悩みやご相談に寄り添う支援を心掛け、お悩みの解決手段やご家庭でできる支援や協力に取り組んでいただいております。	現在、ペアレントプログラムとしては行っていませんが、児童の行動に関する保護者様の皆様の不安に対し、行動の理解や対応方法などの助言を今後も行うようにしてまいります。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に重要事項説明書、契約書を通し、利用者負担金などについて分かりやすく丁寧な説明を心がけております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		連絡帳や、送迎時でも話しかけていただけるように日頃からコミュニケーションを大切にしております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7	コロナ過のため今年度は保護者会を開催できておりません。	コロナ収束後には保護者様のご意見を伺いながら保護者様参加型の行事や保護者様同士や保護者様と職員との交流機会を検討してまいります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		現在までに、重大な苦情をいただくことはありませんでしたが迅速に対応出来る様努めてまいります。 苦情をいただいた場合には全職員に周知し、ご意向の内容と対応について情報共有を行い、改善へと繋げてまいります。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		毎月、「COMPASS だより」を発行し、療育の様子、遊びの様子、行事の様子を掲載しております。 また、LINE公式アカウントやYouTube、Instagram、ホームページのブログなどでも情報を発信しております。	
	35	個人情報に十分注意している	7		個人情報にかかわる書類に関しては鍵付きキャビネットで保管管理し、十分に注意して取り扱っております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		分かりやすく丁寧な情報伝達を心がけております。 児童の日々の様子を連絡帳などでお伝えしていますが、送迎時には保護者様と直接お話をしてより詳しい内容をお伝えしております。	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7	現時点ではコロナ過のため、地域の方をご招待するなどの企画に至っておりません。	今後、コロナ感染症が収束した際には保護者様のご意向を確認したうえで企画を検討してまいります。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7		各マニュアルはすぐに確認できるよう入口に掲示しております。 また、避難訓練は定期的を実施しております。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		年間で計画を立て地震・火事・不審者などの避難訓練を実施し職員間の意識づけや連携を図れるよう努めております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		コロナ過の為外部研修は参加できておりませんが事業所内でも虐待防止研修会を開催し、全職員で討議をおこなっております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		7	利用契約書に身体拘束についての記載があり、やむを得ず身体拘束を行う場合はあらかじめ文面により保護者様の同意を得る事と定めております。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされている	7		アセスメントや、保護者様に確認をおこない、利用児童のアレルギーについては全職員が把握し、対応しております。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		ヒヤリハットが発生した場合、詳細に記録し、共有しております。 事例集は職員間で共有し、定期的に振り返りをおこない、再発防止と、事故の未然防止に努めております。	